



2021年8月4日

各位

会社名 株式会社三菱ケミカルホールディングス
 代表者名 代表執行役社長 ジョンマーク・ギルソン
 (コード番号：4188 東証第1部)
 問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長 清水 治
 TEL. 03-6748-7120

2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月12日に公表しました2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の連結業績予想の修正

	売上収益	コア営業利益	営業利益	四半期利益	親会社の所有者に 帰属する 四半期利益	基本的 1株当り 四半期利益
	億円	億円	億円	億円	億円	円 銭
前回発表予想 (A) (2021年5月12日発表)	17,740	1,025	1,005	605	440	30 98
今回修正予想：(B)	18,600	1,490	1,470	970	790	55 60
増減額 (B-A)	860	465	465	365	350	
増減率 (%)	4.8%	45.4%	46.3%	60.3%	79.5%	
(ご参考)前年同期実績 (2021年3月期 第2四半期連結累計期間)	15,048	546	△281	△399	△497	△34 99

税引前四半期利益 前回発表予想 935億円 今回修正予想 1,410億円

注)コア営業利益は、営業利益から非経常的な原因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

2. 業績予想修正の理由

各国の経済活動が徐々に正常化する中で、当第1四半期連結累計会計期間においては、機能商品の一部製品の需要が想定以上に強含み需給バランスのタイト化等が見られました。また、ケミカルズ等においては、市況が想定を上回って推移しており、売上収益及びコア営業利益以降の各段階損益が、前回発表予想数値を上回る見込みとなりました。

なお、現段階では下期業績の見極めが困難であるため通期連結業績について新たな予想は作成しておらず、前回発表予想からの修正はありません。

<ご参考>

セグメント別損益 (コア営業利益)

(億円)

	修正予想	前回発表予想	増減額
機能商品	475	325	150
ケミカルズ	550	240	310
産業ガス	450	450	—
ヘルスケア	30	30	—
その他	△15	△20	5
合計	1,490	1,025	465

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上